

# 第4章 目標達成のための施策

## 4-1 施策体系

前章で整理した当面の目指す姿（5年先の目標）を達成するために、次に掲げる施策について、順次取り組んでいくこととします。

観点	目指す将来像 (30~50年先の目標)	当面の目指す姿 (5年先の目標)	目標達成に向けて取り組む施策
① ネットワークとしての公共交通の充実	目標① 新技術などを含めた多様なモビリティにより、市内のどこからでも目的地にアクセスできるまち	目標① ラストマイル※1の多様な移動手段が整えられ、既存公共交通を利用しやすい状態	【施策1-1】公共施設巡回バス(セッピイ号)および市内循環バスの運行形態の見直し 【施策1-2】タクシー乗り場設置の検討 【施策1-3】新たなモビリティの導入およびモビリティ拠点整備の検討
② 交通の円滑化	目標② 公共交通への転換など、かしこいクルマの使い方の浸透により、渋滞がほとんどない生活がしやすいまち	目標② ピーク時の通勤需要など、特定のターゲットを絞った対策により、深刻な渋滞が緩和した状態	【施策2-1】交通需要マネジメント(TDM)の実施検討 【施策2-2】事業所に対するモビリティマネジメント(事業所MM)の実施
③ 自転車の活用	目標③ 平坦な地形を活かして自転車と公共交通が連携し、移動需要を双方で補完しあうことで、誰もが自由に移動できるまち	目標③ 公共交通の需要を減らさず、サービスを補完する形で、自転車・シェアサイクルを利用しやすい環境が整った状態	【施策3-1】シェアサイクルの普及・利用促進 【施策3-2】自転車の利用促進
④ 道路空間の活用見直し	目標④ 道路や駅前広場などの空間において、使い方の優先度が適切に設定され、安全性や利便性が最大限に高められた、賑わいあふれるまち	目標④ 既存公共交通やラストマイルの手段などが利用しやすい空間として整えられ、渋滞がなく安全で快適に通行ができる状態	【施策4-1】道路空間の再配分・活用方法変更の検討
⑤ 公共交通のサービス・情報統合	目標⑤ 公共交通事業者相互にとどまらず、市内の企業や施設、市民が共創し、情報の一元化や取組のシームレス化が実現されたまち	目標⑤ 事業者間のダイヤ・路線情報などを共通化した媒体があり、利用者が容易にアクセスできる状態	【施策5-1】移動のシームレス化の推進 【施策5-2】バス待ち環境の確保・改善 【施策5-3】店舗などと連携した利用促進の検討
⑥ 住民意識の向上	目標⑥ 住民や企業、就業者など摂津市の移動に関わる全ての人々が、交通手段をかしこく選択する意識を持って、公共交通を守り、育てられているまち	目標⑥ 住民など※2が、公共交通の現状を認識し、自家用車の利用を控える意識を持つとともに、公共交通の利用促進に携わる人材が確保・育成された状態	【施策6-1】モビリティマネジメント(住民MM、学校MM、市職員MM)の実施 【施策6-2】公共交通人材の育成・確保

※1 ラストマイル：モノ・サービスが到達する最後の区間のこと。公共交通分野においては最寄り駅・バス停から自宅・目的地までの区間を指す。本計画ではファーストマイルを含む用語として整理。

※2 住民など：住民や企業、就業者など摂津市の移動に関わる全ての人。

図 17 施策体系

## 4-2 施策の具体化にあたってのポイント

施策の具体化にあたってのポイントを次に示します。

本計画では、移動の時間帯や目的地がある程度まとまった、通勤通学などの移動に対応した交通を「基幹交通」、移動の時間帯や目的地が分散している、生活必需施設などへの移動に対応した交通を「日常生活交通」として位置づけます。なお、施策の具体化にあたってのポイントの詳細については、参考資料（参考-48～参考-49）を参照してください。

### ①:公共交通利用ターゲットの明確化(世代・利用目的)

- ・世代や利用目的の組み合わせから、公共交通による移動需要の高いターゲットに合わせたネットワーク構築、施策検討が必要

### ②:時間帯によって異なるニーズへの対応

- ・通勤・通学が多い朝夕のピーク時と日中・休日の移動では、移動の総量および目的、利用する道路・経路などが異なるため、時間帯によって異なるニーズに対応したネットワーク構築が必要

図 18 施策の具体化にあたってのポイント

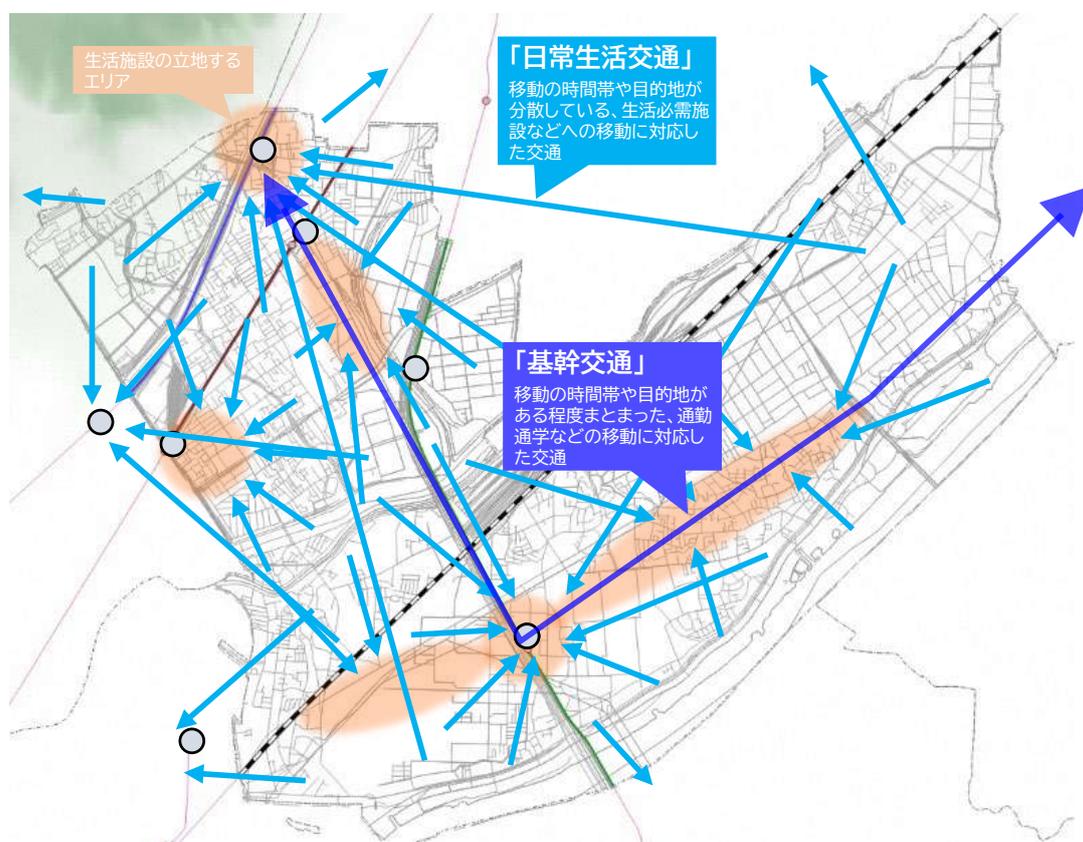


図 19 基幹交通と日常生活交通のイメージ

## 4-3 施策内容

### (1) 施策ページの見方

**■ 5年先の目標**  
本施策の推進により、達成される目標を示しています

目標【1】ラストマイルの多様な移動手段が整えられ、既存公共交通を利用しやすい状態

【施策1-1】公共施設巡回バス(セツピイ号)および市内循環バスの運行形態の見直し

**■ 施策の趣旨**  
施策の趣旨を示しています

**趣旨**

- 市民の移動実態・ニーズは時代に応じて変化していますが、公共施設巡回バス(セツピイ号)は平成30年(2018年)以降、市内循環バスは平成25年(2013年)以降、サービスの改善・見直しが十分にできていませんでした。
- 市民にとってより使いやすい移動手段とするため、公共施設巡回バス(セツピイ号)および市内循環バスの運行形態の見直しを図ります。
- 市民の移動実態・ニーズにあつた運行形態を検討するために、まずは利用実態の分析や市民ニーズの把握などを実施します。
- 移動実態およびニーズ、既存の輸送資源を踏まえて、運行形態(路線・区域やダイヤ、車両など)を検討し、見直しを図ります。なお、路線バスが提供するサービスとの重複を避け、補完する形で公共施設巡回バス(セツピイ号)および市内循環バスの役割を明確化するとともに、公共交通全体の利用促進にもつながるように鉄道・路線バスへの乗り継ぎも考慮します。

**■ 具体的な内容**  
施策で実施する具体的な内容を示しています

**【事例・取組イメージ】**

▼市民ニーズに応じたサービスのリニューアル(山形県鶴岡市)

リニューアルポイント

- ① 車両の小室化(26人乗→12人乗)
- ② 増設(12便/日→48便/日)
- ③ バス券の増設(5分乗車→79箇所)
- ④ 運行ルートの変更(平日2コース⇒平日土日祝3コース)





出典：庄内交通HP

▼路線に応じた車両カラーでの運行(広島県東広島市)



<b>役割</b>	<b>主体</b>	【摂津市】実施主体、市民ニーズ把握、運行形態見直し検討(道路交通課) 【バス事業者】運行主体、運行形態見直しに対する提案・助言
	<b>連携・協働</b>	【国土交通省】法制度に係る助言や地域事例の提供 【施設管理者】バス停やベンチなどの付帯環境確保の協力 【市民】市民ニーズ把握の協力、積極的な利用、調査やワークショップなどへの積極的な参加

<b>実施時期</b>	令和7年(2025年)	令和8年(2026年)	令和9年(2027年)	令和10年(2028年)	令和11年(2029年)	次期計画
	市民ニーズ把握 運行形態見直し検討	運用面の検証 関係者調整	実証運行	本格運行		

**■ 役割**  
各施策の推進において関係者が担う役割を次の2つに分類し、示しています

**主体**：施策に主体的に取り組み、動かしていく役割  
**連携・協働**：施策に連携・協働、助言・協力・参加などを行う役割

また、行政や公共交通事業者だけでなく、「地域」や「市民」も各施策の推進において重要な役割を持つため、これらを次に定義し、役割として示しています

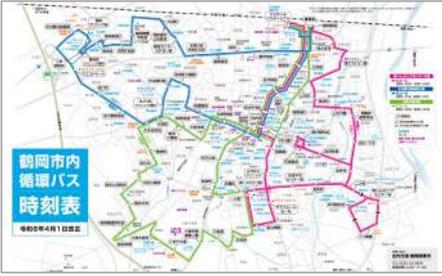
**地域**：自治会や町会などまとまりのある組織など  
**市民**：地域公共交通を利用する個人

**■ 実施時期**  
具体的な内容で記載した実施内容を、計画期間5年間の中でどの時期に実施するかを示しています

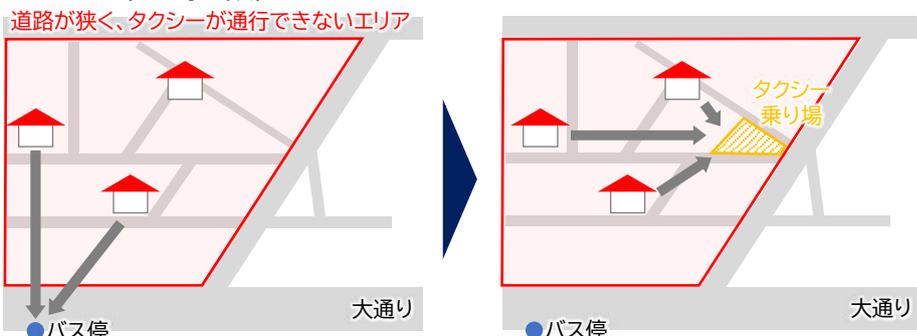
図 20 施策ページの見方

(2) 各目標における施策内容

目標【1】ラストマイルの多様な移動手段が整えられ、既存公共交通を利用しやすい状態

【施策1-1】 公共施設巡回バス(セッピー号)および市内循環バスの運行形態の見直し						
趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の移動実態・ニーズは時代に応じて変化していますが、公共施設巡回バス(セッピー号)は平成 30 年(2018 年)以降、市内循環バスは平成 25 年(2013 年)以降、サービスの改善・見直しが十分にできていませんでした。</li> <li>・市民にとってより使いやすい移動手段とするため、公共施設巡回バス(セッピー号)および市内循環バスの運行形態の見直しを図ります。</li> </ul>					
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の移動実態・ニーズにあった運行形態を検討するために、まずは利用実態の分析や市民ニーズの把握などを実施します。</li> <li>・移動実態およびニーズ、既存の輸送資源を踏まえて、運行形態(路線・区域やダイヤ、車両など)を検討し、見直しを図ります。なお、路線バスが提供するサービスとの重複を避け、補完する形で公共施設巡回バス(セッピー号)および市内循環バスの役割を明確化するとともに、公共交通全体の利用促進にもつながるように鉄道・路線バスへの乗り継ぎも考慮します。</li> </ul> <p><b>【事例・取組イメージ】</b></p> <p>▼市民ニーズに応じたサービスのリニューアル(山形県鶴岡市)</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>リニューアルポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 車両の小型化(26人乗り⇒12人乗り)</li> <li>② 増便(12便/日⇒48便/日)</li> <li>③ バス停の増設(58箇所⇒79箇所)</li> <li>④ 運行ルートの変更(平日2コース⇒平日土日祝3コース)</li> </ol> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="margin-left: 20px;">  <p>出典: 庄内交通(株)HP</p> </div> </div> <p>▼路線に応じた車両カラーでの運行(広島県東広島市)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>					
役 割	主体	<p>【摂津市】 実施主体、市民ニーズ把握、運行形態見直し検討(道路交通課)</p> <p>【バス事業者】 運行主体、運行形態見直しに対する提案・助言</p>				
連携・協働	連携・協働	<p>【国土交通省】 法制度に係る助言や地域事例の提供</p> <p>【施設管理者】 バス停やベンチなどの待合環境確保の協力</p> <p>【市民】 市民ニーズ把握の協力、積極的な利用、調査やワークショップなどへの積極的な参加</p>				
実施時期	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	令和10年 (2028年)	令和11年 (2029年)	次期計画
		市民ニーズ把握 運行形態見直し検討	運用面の検証 関係者調整	実証運行	本格運行	

【施策1-2】 タクシー乗り場設置の検討

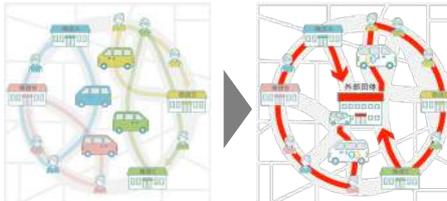
趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地からバス停が遠い地域では路線バスの利用に対するハードルが高く、またタクシーを利用する場合においても、狭い道路に囲まれた地域ではタクシー車両が通行できないため、タクシー利用者は大通りまで歩いて出る必要があります。</li> <li>・こうした地域における移動手段を確保するため、住宅エリア内へのタクシー乗り場の設置を検討します。</li> </ul>					
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や産業部門と連携・協働し、タクシー乗り場の設置の検討を行います。なお、設置候補地の選定にあたっては、民間駐車場や集合住宅の空きスペース、事業所の未活用スペースなどの活用も検討します。加えて、乗り場の確保・運用に関する協定などの締結に向けた調整を行います。</li> <li>・将来的には決まった時間にタクシーが待機している状態を目指し、タクシー乗り場の運用方法についても検討します。</li> </ul> <p><b>【事例・取組イメージ】</b></p> <p>▼タクシー乗り場の設置イメージ</p> <p>道路が狭く、タクシーが通行できないエリア</p>  <p>▼駐車場を活用したタクシー乗り場設置(大阪府東大阪市)</p>  <p>出典: 東大阪市『地域交通拠点』(地域内タクシー乗り場)設置社会実験の実施とその成果 仲林 篤史,大阪商業大学共同参画研究所,2022</p>					
役 割	主体	<p>【地域】 乗り場設置の候補地の抽出、乗り場の確保・運用に関する協定などの締結</p> <p>【タクシー事業者】 協定などに基づく運用</p> <p>【摂津市】 乗り場導入・設置の方針整理、事例収集、乗り場の環境整備、迎車料金補助の検討、協定などの締結の調整・サポート(道路交通課)</p>				
	連携・協働	<p>【摂津市・商工会】 乗り場候補地などの情報提供、協議の場の調整(産業振興課)</p> <p>【国土交通省】 事例収集、関係者の紹介</p> <p>【市民】 積極的な利用</p>				
実施時期	令和7年(2025年)	令和8年(2026年)	令和9年(2027年)	令和10年(2028年)	令和11年(2029年)	次期計画
	乗り場導入・設置の方針整理 事例収集・ヒアリング 乗り場設置の候補地抽出		関係者調整(協定などの締結・協議の場の調整など) 乗り場の設置の試行			乗り場の本格運用、迎車料金補助の検討

【施策1-3】 新たなモビリティの導入およびモビリティ拠点整備の検討

趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に外出できる環境にしていくためには、最寄り駅・バス停から自宅や目的地まで(ラストマイル)の移動手段の確保が必要です。</li> <li>・誰もが使いやすいラストマイルの移動手段を確保していくためにも、新たなモビリティの導入を検討します。あわせて、既存公共交通の利便性・乗り継ぎやすさ向上のため、モビリティ拠点の整備も検討します。</li> </ul>					
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者でも気軽に利用できるように、小型モビリティや電動車いすなどを活用したシェアモビリティの導入を検討します。</li> <li>・新たなモビリティの導入とあわせて、鉄道や路線バス、タクシー、自転車などを含めた多様な交通モードが集積するモビリティ拠点(モビリティハブ)の整備を検討します。なお、モビリティ拠点の位置は、地域のイベントなどができる賑わい形成や既存公共交通への接続などを考慮して検討します。</li> </ul> <p><b>【事例・取組イメージ】</b></p> <p>▼高齢者でも利用がしやすいシェアモビリティ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="403 786 700 987">  <p>小型モビリティ</p> <p>出典:トヨタ自動車(株)HP</p> </div> <div data-bbox="767 786 1038 987">  <p>電動車いす</p> <p>出典:WHILL(株)HP</p> </div> <div data-bbox="1050 786 1326 987">  <p>シェア自転車</p> <p>出典:WHILL(株)HP</p> </div> </div> <p>▼多様な交通が集積するモビリティ拠点(モビリティハブ)</p> <div data-bbox="411 1081 1137 1491">  <p>出典:国土交通省資料</p> </div>					
役 割	主体	<p>【摂津市】 事例収集、導入する交通モード・モビリティ拠点の機能・位置・整備手法の検討(道路交通課)</p> <p>【モビリティ事業者】 新たなモビリティの提案・設計</p>				
連携・協働	連携・協働	<p>【鉄道・バス・タクシー事業者・シェアサイクル事業者】 モビリティ拠点整備に係る助言、広報活動・周知への協力</p> <p>【摂津市・商工会】 企業の所有するモビリティ拠点候補地などの情報提供、協議の場の調整(産業振興課)</p> <p>【施設管理者】 モビリティ設置スペース確保の協力</p> <p>【市民】 イベントなどの機会に新たなモビリティへの関心の向上、拠点の確保に向けた協働と積極的な関与</p>				
実施時期	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	令和10年 (2028年)	令和11年 (2029年)	次期計画
	<p>新たなモビリティに関する情報収集・視察 導入するモビリティの検討</p>		<p>モビリティ導入の試行、関係者調整 拠点形成の検討・候補地抽出</p>			<p>モビリティの本格運用・拠点化の実現</p>

**目標【2】 ピーク時の通勤需要など、特定のターゲットを絞った対策により、深刻な渋滞  
が緩和した状態**

**【施策 2-1】 交通需要マネジメント(TDM)の実施検討**

趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間帯には自家用車の利用が集中し、渋滞が発生することにより、路線バスの定時性確保が困難な状況となっています。</li> <li>・より快適な公共交通サービスを提供していくため、自家用車の利用方法の変更を促して交通混雑の緩和を図る交通需要マネジメント(TDM:Transportation Demand Management)の実施を検討します。</li> </ul>					
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業送迎バスの相乗りや業務車両のシェアリング、共同送迎サービスなど、移動資源の共同化の可能性を検討します。</li> <li>・通勤時の移動手段が自家用車から公共交通に見直されると、企業の従業員駐車場スペースを削減することができ、土地に係る費用の削減や土地の有効活用など、産業の振興につながることも期待されるため、産業部門とも連携を図りながら検討します。</li> <li>・市民に向けた公共交通への転換を促すインセンティブを検討します。</li> </ul> <p><b>【事例・取組イメージ】</b></p> <p>▼企業送迎バスの相乗り(静岡県湖西市)</p> <div data-bbox="367 918 845 1254"> <p>今年度も運行します</p> <p>バス <b>湖西市企業シャトルBaaS</b></p> <p><b>企業シャトルBaaSとは?</b> 自家用車に乗り換えても通勤が楽になるように、市が企業の協力の下、各社が運行するシャトルバスに地域の隣接企業でも乗車できる湖西市ならではの取組です。</p> <p>令和6年度の運行について 各社に専用車位枠を、全ての路線・区間が「予約制」で乗車できるように調整した。ぜひ、ご利用ください。</p> <p>■運行期間 令和6年10月1日(火)～令和7年2月28日(金) ※10日祝日、年末年始を除く</p> <p>■路線 デューラー線(坂田駅)・デューラー線(清島駅)・徳島駅前電停乗り降路線 路線が詳細な説明書は2ページ以降をご覧ください。</p> <p>■料金 1乗車100円(現金不可。事前に乗車券(1枚100円)をお買い求めください) ※11848円1,000円6乗券(1日分利用、2日にわたる乗車で使えるクーポン付発行) ▶</p> </div>  <p>出典:湖西市 HP</p> <p>▼企業間での業務車両のシェアリング(福岡県福岡市)</p> <div data-bbox="367 1299 798 1590">  <p>出典:住友商事(株)HP</p> </div> <p>▼福祉・介護施設の協働送迎サービス(島根県出雲市)</p> <div data-bbox="957 1321 1436 1568">  <p>出典:ダイハツ工業(株)HP</p> </div>					
役 割	主体	<p>【摂津市】事例収集、TDMの推進、バス停位置の調整・ルート再編の検討(道路交通課)</p> <p>【摂津市・商工会】事業所への働きかけ、協議の場の調整(産業振興課)</p>				
	連携・協働	<p>【鉄道・バス・タクシー事業者】TDMへの参画・協働、広報活動・周知への協力</p> <p>【国土交通省】事例収集、関係者の紹介、TDM推進に対する助言</p> <p>【市民】TDM活動への参加・理解、体験を踏まえた広報活動</p>				
実施時期	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	令和10年 (2028年)	令和11年 (2029年)	次期計画
	TDMに関する事例収集・視察 手法の検討		TDMの試行、関係者調整			TDMの 本格実施

【施策 2-2】事業所に対するモビリティマネジメント(事業所 MM)の実施

趣 旨

- ・朝の通勤時間帯に自家用車の渋滞に巻き込まれ、路線バスの定時性確保が困難な状況となっています。
- ・通勤交通に伴う渋滞を緩和するため、市内の事業所に対して自家用車から公共交通への転換を働きかける、モビリティマネジメントの取組を実施します。

- ・モビリティマネジメントとして、公共交通利用の動機付けリーフレットの配布やエコ通勤優良事業所の認証・登録を推進します。
- ・エコ通勤優良事業所の認証・登録推進にあたっては、事業者へのインセンティブについても検討します。

【事例・取組イメージ】

▼公共交通利用の動機付けリーフレット



出典:エコ通勤ポータルサイト(国土交通省)

▼エコ通勤優良事業所に対するインセンティブ事例(栃木県宇都宮市)



令和5年度宇都宮市「エコ通勤普及促進事業」登録特典

- (1) 路線バス事業者におけるフルラッピング広告により参加事業所名の掲出
  - ・ 令和6年1月31日までの申請を条件
  - ・ 関東自動車バス2台を半年間走行予定
- (2) 宇都宮市「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」ホームページ等でのPR
- (3) totra配布
  - ・ エコ通勤を始める従業員を想定し、交通ポイントが10,000pt付与されたtotraを配布(1社につき5枚以内)



出典:宇都宮市 HP

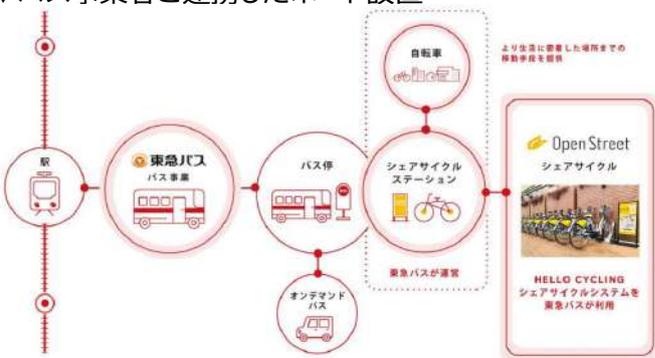
具体的な内容

役割	主体	【摂津市】リーフレットなどによる啓発、エコ通勤優良事業所の選定・インセンティブ検討(道路交通課)
	連携・協働	【摂津市・商工会】リーフレットなどの配布協力、エコ通勤に関して高い意識を持つ事業所の紹介(産業振興課) 【鉄道・バス・タクシー事業者】 駅や車両などへのエコ通勤優良事業所掲出の協力

実施時期	令和7年(2025年)	令和8年(2026年)	令和9年(2027年)	令和10年(2028年)	令和11年(2029年)	次期計画
	リーフレットなどによる啓発活動					エコ通勤優良事業所の認証・登録ポータル

**目標【3】 公共交通の需要を減らさず、サービスを補完する形で、自転車・シェアサイクルを利用しやすい環境が整った状態**

**【施策 3-1】 シェアサイクルの普及・利用促進**

趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、産官学が連携してシェアサイクル実証実験に関する協定を締結し、シェアサイクルの有効性および課題の検証を実施しています。</li> <li>・公共交通を補完し、誰もが自由に移動できる環境を確保していくため、シェアサイクルの普及・利用促進を図ります。</li> </ul>					
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェアサイクルポートの設置やシェアサイクルの広報活動を行います。</li> <li>・シェアサイクルの普及・促進にあたっては、公共交通の需要を減らさずにサービスを補完することを前提として、公共交通全体の利用促進につながるよう鉄道・路線バスへの接続も考慮します。</li> </ul> <p><b>【事例・取組イメージ】</b></p> <p>▼市内に設置されているシェアサイクルポート</p>  <p>▼バス事業者と連携したポート設置</p>  <p>出典:東急バス(株)HP</p>					
役 割	主体	<p>【摂津市】ポート設置に係る調整、広報活動の実施(道路交通課)</p> <p>【シェアサイクル事業者】サイクルポートの増設、利用に関するデータ提供、シェアサイクルの採算性の向上</p>				
	連携・協働	<p>【バス事業者】路線バスの利用促進につながるシェアサイクルの普及・促進の協力</p> <p>【摂津市・商工会】ポート設置候補地などの情報提供、協議の場の調整(産業振興課)</p> <p>【市民】移動状況に応じたシェアサイクルの利用</p> <p>【施設管理者・地域】ポート設置に係るスペース確保の協力</p>				
実施時期	令和7年(2025年)	令和8年(2026年)	令和9年(2027年)	令和10年(2028年)	令和11年(2029年)	次期計画
	有効性および課題の検証	<p>サイクルポートの増設置 広報活動の実施</p>				

【施策 3-2】 自転車の利用促進

趣 旨

- ・摂津市は平坦な地形であることから、近隣市と比べても自転車を利用した移動が多くなっています。
- ・より自転車を利用しやすい環境を整え、住民などの移動手段の充実を図るため、自転車の利用促進を図ります。

具体的な内容

- ・路線バスの停留所周辺に駐輪場を設置するなど、サイクル&バスライドの推進を検討します。なお、バス停付近への駐輪場整備にあたり、設置スペースの確保について検討を行うとともに、自転車利用者の安全確保も考慮して検討します。
- ・自転車走行空間の確保や利用マナーの周知・啓発を推進します。

【事例・取組イメージ】

▼サイクル&バスライド(神奈川県茅ヶ崎市)



■サイクル&バスライド

出発地点(自宅など)から自転車で最寄りのバス停までいき、バス停付近の自転車駐輪場に駐車し、バスに乗り換えて目的地に向かうこと

出典:茅ヶ崎市 HP

▼市内に設置されている矢羽根型路面標示



役 割

主体	【摂津市】 駐輪場設置の候補地・手法の検討、関係者調整・具体的検討、自転車走行空間の整備(道路交通課)
連携・協働	【バス事業者】 バス停乗降状況の情報提供、駐輪場設置検討に対する助言 【施設管理者】 駐輪場整備に対する技術的助言 【市民】 積極的な利用、自転車の利用マナーアップ

実施時期

令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	令和10年 (2028年)	令和11年 (2029年)	次期計画
駐輪場設置の候補地・手法の検討		関係者調整・具体的検討			バス停付近への駐輪場設置
自転車走行空間の整備					

**目標【4】 既存公共交通やラストマイルの手段などが利用しやすい空間として整えられ、渋滞がなく安全で快適に通行ができる状態**

**【施策 4-1】 道路空間の再配分・活用方法変更の検討**

趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路や駅前広場において公共交通のプライオリティを高くするなど、使い方の優先度を見直すことは公共交通の利便性向上につながります。</li> <li>既存公共交通やラストマイルの手段などが利用しやすく、また渋滞がなく安全で快適に通行ができる空間としていくため、道路空間の再配分や活用方法変更を検討します。</li> </ul>					
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路空間の再配分・活用方法変更として、道路空間を活用したシェアリングやバス停でのバリアフリー化の実施、駅前広場の使い方・方向性を検討します。</li> </ul> <p><b>【事例・取組イメージ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼道路空間を活用したシェアリング(東京都千代田区)           <div data-bbox="391 728 837 996"> </div> <p>出典:国土交通省関東地方整備局東京国道事務所</p> </li> <li>▼バス停でのバリアフリー化(バリアレス縁石設置)(神奈川県横浜市)           <div data-bbox="391 1086 1244 1288"> </div> <p>出典:㈱ブリヂストン HP</p> </li> <li>▼駅前広場の使い方・方向性を示したビジョン(富山県富山市)           <div data-bbox="391 1366 1197 1635"> </div> <p>出典:南富山駅周辺まちづくりビジョン</p> </li> </ul>					
役割	主体	【摂津市】事例・技術情報収集、具体化・手法の検討、鉄道・バス・タクシー事業者との調整(道路交通課)				
	連携・協働	【鉄道・バス・タクシー事業者】道路空間の再配分および用途変更に対する提案・助言、改善が必要な箇所の情報提供 【市民】公共交通の積極的な利用				
実施時期	令和7年(2025年)	令和8年(2026年)	令和9年(2027年)	令和10年(2028年)	令和11年(2029年)	次期計画
	事例や技術情報の収集		具体化・手法の検討、一部試行			道路空間の再配分および用途変更の実施

**目標【5】 事業者間のダイヤ・路線情報などを共通化した媒体があり、利用者が容易にアクセスできる状態**

**【施策 5-1】 移動のシームレス化の推進**

<p><b>趣 旨</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者目線に立った公共交通を実現していくためには、事業者の枠組みにとらわれない一元的なサービス提供が求められます。</li> <li>・公共交通の更なる利便性向上を図るため、移動のシームレス化を推進します。</li> </ul>					
<p><b>具体的な内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通モードを統合した情報提供ツール(公共交通マップ)の作成・配布やバス停統合などの運行情報の一体的な案内に加えて、乗換検索や予約、運賃支払いなどを一括で行うことができるサービスの活用・連携なども検討します。</li> <li>・公共交通マップは、目的地までの案内や乗り方・利用マナーの周知など、利用者目線でのわかりやすい情報を掲載するとともに、掲載情報の確認に係る事業者の負担も考慮したうえで作成します。</li> </ul> <p><b>【事例・取組イメージ】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="391 772 957 817"> <p>▼交通モードを統合したマップ(大阪府枚方市)</p>  <p>出典:NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議 HP</p> </div> <div data-bbox="1021 772 1420 817"> <p>▼バス停の統合(北海道日高郡)</p>  <p>出典:JA みついし HP</p> </div> </div> <p>▼乗換検索・予約・決済を一括で行うサービス</p>  <p>出典:KANSAI MaaS</p>					
<p><b>役 割</b></p>	<p><b>主体</b></p> <p>【摂津市】 事例・技術情報収集、具体化・手法の検討、関係者調整・協議実施、情報提供ツールの作成・配布(道路交通課)</p> <p>【バス事業者】 運行情報などの提供、マップ配架スペースの確保、バス停統合の検討、具体化・手法の検討に係る助言</p> <p>【鉄道・タクシー事業者】 運行情報などの情報提供、配架スペースの確保、具体化・手法の検討に係る助言</p> <p><b>連携・協働</b> 【市民】 公共交通の積極的な利用、マップ作成への参画、広報・周知への協力</p>					
<p><b>実施時期</b></p>	<p>令和7年 (2025年)</p>	<p>令和8年 (2026年)</p>	<p>令和9年 (2027年)</p>	<p>令和10年 (2028年)</p>	<p>令和11年 (2029年)</p>	<p>次期計画</p>
<p>事例や技術情報の収集</p>		<p>関係者調整・協議実施、具体化・手法の検討、一部試行</p>			<p>移動のシームレス化の実施</p>	
<p>情報提供ツールの作成・配布</p>		<p>情報提供ツールの更新・配布</p>				

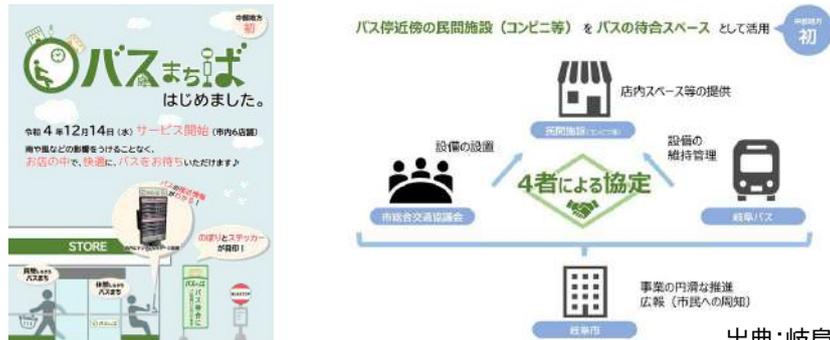
【施策 5-2】 バス待ち環境の確保・改善

趣 旨

- ・公共交通の利便性を向上させるため、バス待ち環境の確保・改善を行います。
- ・沿道のコンビニや商業施設などの民間施設とも連携して、バス待ち環境の確保を行っていきます。また、公共交通事業者や行政に加えて、企業や市民を巻き込んだ維持管理の方法を検討します。
- ・バス待ち環境の確保・改善にあたっては、地域の憩い・賑わい拠点として整備していくことも考慮して検討します。
- ・住民などの公共交通に対する意識の高まりに合わせて、バス待ち環境の確保・改善に取り組みます。

【事例・取組イメージ】

▼コンビニなどと連携したバス待ち環境確保(岐阜県岐阜市)



出典:岐阜市 HP

▼企業・市民の協賛金によるバス停整備・維持管理のイメージ



出典:とさでん交通株HP

具体的な内容

役割

主体	【摂津市】 事例収集、バス待ち環境整備の候補地抽出・整備、関係者調整・協議実施(道路交通課)
連携・協働	【バス事業者】 バス待ち環境確保・改善の取組に対する提案・助言・協力 【摂津市・商工会】 バス待ち空間候補地などの情報提供、協議の場の調整(産業振興課) 【施設管理者】 バス停やベンチなどの待合環境確保の協力 【市民】 公共交通の積極的な利用、バス停整備・維持への積極的な参画

実施時期

令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	令和10年 (2028年)	令和11年 (2029年)	次期計画
事例収集・ヒアリング バス待ち環境整備の 候補地抽出		バス待ち環境整備の試行 関係者調整・協議実施		バス待ち環境の確保の実施 維持管理方法の検討	

【施策 5-3】 店舗などと連携した利用促進の検討

趣旨

・公共交通の利用機会を醸成するため、店舗などと連携した利用促進を検討します。

・市内の目的地となる商業施設などと連携して、公共交通利用者への特典・インセンティブを検討します。

【事例・取組イメージ】

▼商業施設などと連携した企画乗車券(大阪府河内長野市)



モックルカード または ワイドモックルカード を各窓口で提示すると お得な特典が満載！ 特典の有効期限 令和6年7月1日～7年3月31日					
エリア	No.	店名	特典内容	住所・アクセス	Tel.
河内長野市(一部高向線を除く) 日野・流塚コミュニティバス	A	道の駅 奥河内くろまろの郷	パン1個サービス! (250円以下の商品に限る)	高向1218-1 バス停「奥河内くろまろの郷」すぐ	0721 (56) 9606
	B	河内長野市立林業総合センター 木根館	キット体験100円OFF!	高向1818-1 バス停「奥河内くろまろの郷」徒歩約5分、またはバス停「上河原」徒歩約15分	0721 (64) 8151
	C	関西サイクルスポーツセンター	入場料20%OFF! オリジナルステッカープレゼント! ※エリア別各区分は別途対象外 ※施設利用料は別途必要	美野町1304 バス停「サイクルセンター」すぐ	0721 (54) 3101
	D	滝畑湖畔観光農林組合	レストランで食事された方に コーヒー1杯サービス!	滝畑1588-甲 バス停「滝畑ガム」南へ徒歩約4分	0721 (64) 9285

具体的な内容

出典：河内長野市 HP

▼摂津市で取り組んでいる商業施設・店舗と連携した消費喚起・購買促進の取組



**1** 期間中、参加店で「お買い物」「ご飲食」「サービス」をご利用された方が対象です。

スクラッチカードの参加店は、この「ポスター」が目印!

**2** 500円のお支払いごとにスクラッチカードをゲット!(1回のお支払いで5枚まで)

※期間中でも、各参加店でなくなり次第配布終了となりますので、お早めに! (開始日には配布終了する店舗もございます!)

**3** 10円玉で刮って! 刮って!

10円玉で刮って!

**4** 今年は、「1,000円券」「300円券」「はずれ券」の3種類!

1,000円  
300円  
はずれ券

役割

主体	【摂津市】事例収集、具体化・手法の検討(道路交通課) 【バス事業者】店舗と連携した利用促進の取組に対する助言、協力 【摂津市・商工会】店舗などへの協力の働きかけ、協議の場の調整(産業振興課)
連携・協働	【施設管理者】公共交通利用者への特典実施の協力 【市民】公共交通の積極的な利用、利用につながるインセンティブのアイデア提供

実施時期

令和7年(2025年)	令和8年(2026年)	令和9年(2027年)	令和10年(2028年)	令和11年(2029年)	次期計画
協力店舗の募集 具体化・手法の検討		店舗などと連携した利用促進の試行			店舗と連携した利用促進の本格実施

**目標【6】 住民などが、公共交通の現状を認識し、自家用車の利用を控える意識を持つとともに、公共交通の利用促進に携わる人材が確保・育成された状態**

**【施策 6-1】 モビリティマネジメント(住民 MM、学校 MM、市職員 MM)の実施**

<p>趣 旨</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通を将来世代に渡って持続可能なものとしていくためには、市民自らが地域公共交通の現状についてきちんと認識するとともに、積極的に利用して守っていく必要があります。</li> <li>自家用車の利用を控えて公共交通を利用する意識を醸成するため、モビリティマネジメントを実施します。</li> </ul>												
<p>具体的な内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の取組の周知・案内や見える化などにより、公共交通に対する興味・関心を醸成します。</li> <li>既存の学習教材も活用して、小学生や中学生などに公共交通の役割や必要性について考える機会を提供するとともに、中長期的な利用促進を行います。</li> <li>公共交通の積極的な利用を促すため、市民などに先行して摂津市職員を対象としたモビリティマネジメントを実施します。</li> <li>市公式 LINE を活用した情報発信や乗車体験の機会づくりなど、公共交通の利用促進につながる取組を検討します。</li> </ul> <p><b>【事例・取組イメージ】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="379 801 957 833"> <p>▼公共交通を題材にした学習教材(阪急バス株)</p> </div> <div data-bbox="1013 801 1372 869"> <p>▼公共施設利用とセットになった利用体験(石川県能美市)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="379 833 861 1153"> </div> <div data-bbox="1021 878 1332 1153"> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">出典: 阪急バス株提供資料 <span style="float: right;">出典: 能美市 HP</span></p> <p>▼公共交通の情報提供による興味・関心醸成(栃木県小山市)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="391 1232 638 1579"> </div> <div data-bbox="646 1232 901 1579"> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">出典: バスの情報誌 Bloom!ーブルーーン!</p>												
<p>役 割</p>	<p>主体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【摂津市】 事例収集、具体化・手法の検討、ツール・教材などの作成、関係者調整・協議実施(道路交通課)</li> <li>【鉄道・バス・タクシー事業者】 実施に必要な情報提供、企画・ツール作成の支援、広報活動・周知への協力</li> <li>【市民】 企画・ツール作成の場への参画、広報活動・周知への協力</li> <li>【市職員】 公共交通の積極的な利用</li> </ul> <p>連携・協働 【摂津市】 施策実施に係る調整、学校への依頼(学校教育課)</p>												
<p>実施時期</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 16.6%;">令和7年 (2025年)</td> <td style="width: 16.6%;">令和8年 (2026年)</td> <td style="width: 16.6%;">令和9年 (2027年)</td> <td style="width: 16.6%;">令和10年 (2028年)</td> <td style="width: 16.6%;">令和11年 (2029年)</td> <td style="width: 16.6%;">次期計画</td> </tr> <tr> <td>企画・ツール作成(市民参加型)</td> <td colspan="5">モビリティマネジメントの取組実施 取組の見直し・改善</td> </tr> </table>	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	令和10年 (2028年)	令和11年 (2029年)	次期計画	企画・ツール作成(市民参加型)	モビリティマネジメントの取組実施 取組の見直し・改善				
令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	令和10年 (2028年)	令和11年 (2029年)	次期計画								
企画・ツール作成(市民参加型)	モビリティマネジメントの取組実施 取組の見直し・改善												

【施策 6-2】 公共交通人材の育成・確保

趣 旨

- ・公共交通を持続的に確保・維持していくためには、公共交通ネットワークの充実や利用促進の実施など、多方面から様々な取組が必要となります。
- ・公共交通に関わる人材の充実を図るため、利用促進などの取組を実施できる人材の育成や運送を担う乗務員の確保に取り組み、ひいては、こうした人材が新たな人材の育成・確保につながるような好循環の実現を目指します。

- ・国の制度などを活用し、交通に関する知識やデータ活用のノウハウ、コーディネートのスキルなどを有する人材を育成します。
- ・人材育成にあたり、公共交通事業者や学識者による講演や市民参加型のワークショップなどのプログラムを開催するほか、外部機関が開催している公共交通のセミナーへの参加・案内を行います。
- ・定年退職後の消防職員からの乗務員転籍など、運転手確保の支援に関する取組についても検討します。

【事例・取組イメージ】

▼人材の発掘・育成を進めるための制度

■国土交通省 モビリティ人材育成事業

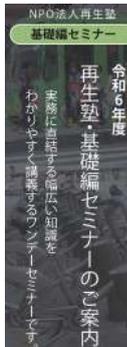
【事業概要】:地域公共交通のリ・デザインを推進するため、モビリティ人材(交通に関する知識・データ活用のノウハウ・コーディネートのスキルなどを有する人材)の育成に関する仕組みの構築や運営を行う事業  
 【補助対象事業者】:自治体、公共交通事業者、まちづくり団体などの民間事業者・NPO 法人など  
 【補助率・上限額】:定額(上限 3 千万円)

▼定年退職後の消防職員から乗務員転籍(三重県桑名市)



出典:桑名市

▼住民などの参加が可能な公共交通に関するセミナー



●プログラム

1	レクチャー	我が国の公共交通の現状・問題	(一社)システム科学研究所 東 徹
2	レクチャー	公共交通の実践知識	近畿運輸局 大石 信太郎
3	レクチャー	再生塾フィールドにおける成功体験・失敗体験	神戸市 交通局 児玉 健
4	意見交換	昼食をとりながらグループワーク「私の問題意識」	参加者全員
5	討 論	再生塾サミット 再生塾中核メンバーが語る「私の問題意識」	宇野 伸宏 白水 靖部 東 徹 進士 望 進行:村尾 俊道
6	意見交換	グループ・ワーク-問題解決に向けて-	参加者のみなさまから

対象 地方自治体の交通政策担当、交通事業の計画担当、交通政策プロジェクトを推進するコンサルタント、交通政策を学ぶ学生、地域住民など

出典:NPO 法人再生塾 HP

具体的な内容

役 割

主体	【摂津市】 事例収集、具体的な実施方法の検討、庁内・事業者調整、外部セミナーへの参加・案内(道路交通課) 【鉄道・バス・タクシー事業者】 人材の受入れ体制の整備 【市民】 プログラムへの積極的な参加
連携・協働	【鉄道・バス・タクシー事業者】 プログラムの企画・開催の協力 【大学】 プログラムの企画・開催の協力

実施時期

令和 7 年 (2025 年)	令和 8 年 (2026 年)	令和 9 年 (2027 年)	令和10年 (2028 年)	令和11年 (2029 年)	次期計画
プログラム企画		プログラムの実施、見直し・改善			
外部セミナーの参加・案内、乗務員確保の取組の検討					